

宍粟市社協 理事が語る!!

市民の声を社協活動に反映

春田重行会長

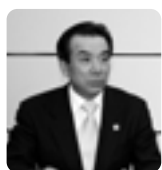


宍粟市社協は発足四年目を迎えました。厳しい社会情勢の中でありますが、宍粟市ご当局のご支援を賜りながら地域福祉の向上のため、役職員共々努力いたします。

さて、一昨年より三年計画で、市内各自治会で懇談会を開催させていただいてありますが、皆様方からのご意見ご提言を賜り、これからの社協活動に反映させていくべく考えております。

社協を地域支え合いの触媒役に

鶴崎和宏副会長



昨年は私も、自治会別懇談会で、いくつかの自治会にお邪魔しましたが、社協活動への理解を得るためのPR不足を感じました。高齢化と共に人口減少が進む宍粟市において、安心して暮らしてい

宍粟は一つの社協

水谷 雄理事



く上で大切なものの一つに「地域の支え合い」が挙げられますが、社協が支え合いの触媒役として一層機能できるよう努力します。

合併四年を経て、ようやく宍粟は一つの社協が出来上がった感があります。「だれもが安心して暮らせるふくしのまちづくり」を基本理念とした活動を展開できることは、住民皆様のご協力による新しい地域づくりの賜であり、まずここに感謝を申し上げます。

さらなる「地域の福祉力づくり」へ

鎌田珠子理事



少子高齢化が進んでいる地域情況の中で、今、宍粟市社協は、「地域に、もっと見える組織や活動を進め、市民の皆様の理解や協力を頂きたい」と考えています。その

二〇〇九年 社協への思い

平成二十一年、宍粟市社協は合併から四年目を迎えます。十九年度に策定した宍粟市社協第一次地域福祉推進計画では『宍粟市のだれもが安心して暮らせるふくしのまちづくり』を福祉目標に設定し、社協は文字通り「ふくしのまちづくり」に努めてきました。新年にあたり、この間の活動を通して見えてきたいくつかの課題について、社協理事が思いを語りました。

ご近所ボランティアを広めよう

村上ノリ理事



一環として実施している自治会別懇談会に多数ご参加いただいて、さらなる「地域の福祉力づくり」の推進にご理解ご支援をお願いします。

「あなたにとつての終の棲家は？」と問われれば、私も含めて誰しも「我が家」と答えるのではないのでしょうか。『光輝高齢者』の一人暮らしの増え続ける中、「♪トントントンカ拉里と隣組ノ格子を開ければ顔馴染み・・・」の歌声とともにみんなでご近所ボランティアはいかがでしょう。

自治会別懇談会の完遂をめざして

段林 繁理事



まだまだ社協の事業について、全体を正しく理解され難い現状です。自治会別懇談会では、社協職員の熱心な説明で、参加された方々の心はつかめたと感じます。地域をこまめにまわることは大変な仕事ですが、住民参加が基本ですので、今年一年での完遂をめざします。

奥行き深い地域福祉

田路壽子理事



昨年は、いくつかの自治会別懇談会に参加しました。婦人会として地域の子育て支援や学童保育所の現状の見学もしました。また、地域の一人暮らし高齢者への配食